

関東農政局「ディスカバー農^{むら}山漁村の宝」選定地区取組概要

⑩ 伊折農業生産組合【長野県小谷村】

～わいわい楽しく百姓仕事 ー集落再生の取組ー ～

【取組の概要】

平成15年に有志2人が、遊休農地の復旧(40a)を行い、そば生産を行ったことを契機に、平成17年4月、集落全13戸(現11戸)が参加する伊折農業生産組合が誕生。遊休農地の活用、山菜(山取り)、ミニトマト、雪中キャベツなど四季を通じて生産・販売のできる農業の展開や宿泊体験等を通じた都市住民との交流による集落の再生に取り組んでいる。

築150年の古民家を改装した農山村体験交流施設「ゆきわり草」を拠点として、雪中キャベツ収穫、犬つぐら作り、夏休み田舎体験、田舎料理講習など様々な取組を展開。「ゆきわり草女子会」が、伝統文化や郷土料理も伝承。

東京農大生との交流により移住(2名)が実現するとともに、農村女性マイスター、NAGANO農業女子との連携により、情報交換、交流の輪が拡大。

生産組合の規模は小さいものの、ゆきわり草を活動拠点とし、定住・移住の促進など小谷村の活性化への貢献を目指している。

【活動の様子】



雪中キャベツを収穫して笑顔



東京町田でのキャベツ直売



「つぐら」はじいちゃんたちが先生



地元食材で作る料理教室



農大生と共に特産ミニトマトを定植



平成29年度から活動開始の大北農業女子